

第28章 地域編④：東ジャワ州

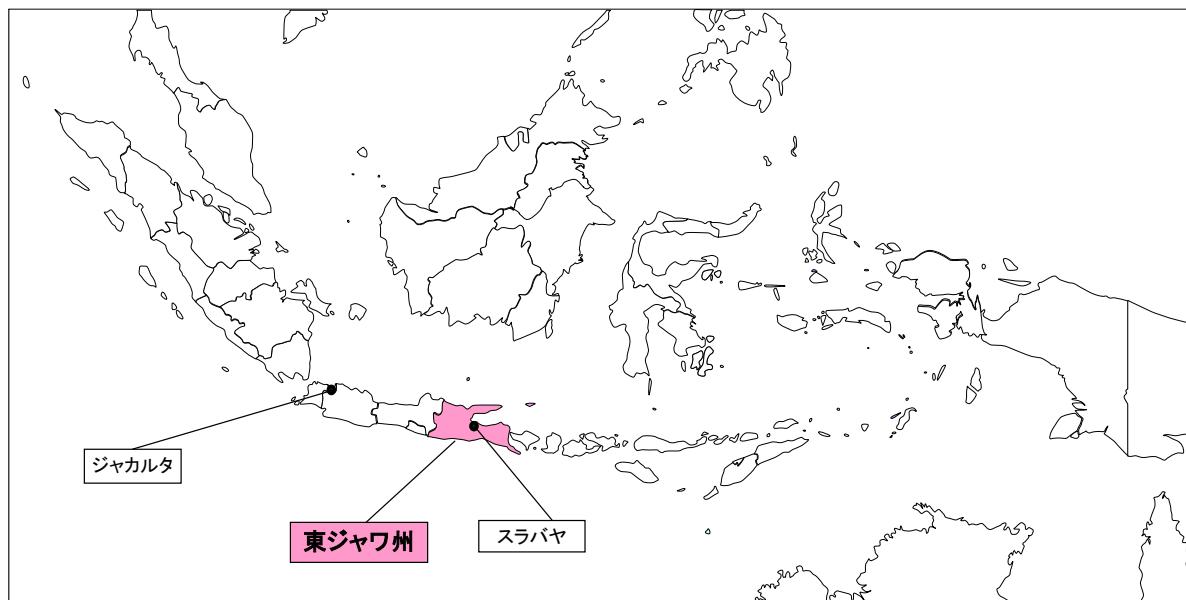
1. 地域概要

(1) 概要

①インドネシア国内における経済的地位

ジャワ東部に位置する東ジャワ州は、人口は4,181万人と西ジャワに次ぎ人口の多い州である。北岸にあるスラバヤはジャカルタに次いで人口が2番目に多い都市である（図表28-1）。同州の農業では米作が中心となっている。州西部のプランタス川下流デルタ一帯には、灌漑設備が整備された穀倉地帯が広がっており、水稻は南スマトラや西、中部ジャワに次ぐ国内有数の生産量となっている。南東部では、サトウキビの栽培が行われ、高原地帯にはコーヒー カカオの農園が見られる。また、インド洋側の湿地帯などではエビや魚の養殖が、マドゥラ島などでは製塩が行われている。国際協力機構の「インドネシア国 マドゥラ島における自然エネルギー活用型技術を導入した天日塩産業の育成に関する基礎調査 業務完了報告書」によると、マドゥラ島の塩田面積はインドネシア全体の塩田総面積の26%を占め、全国の塩収穫量の25%を占めているという。

図表 28-1 東ジャワ州（地図）



（出所）白地図専門店（三角形）より作成

②工業団地・日系企業進出動向

2023年に東ジャワ州が受け入れたFDI総額（実行ベース）は約47.4億ドルで、全国の6.9%を占めた。豊富な人口を抱える東部インドネシアの国内マーケットへのアクセスの良さから、多くの日系食品メーカー や日用品メーカーが進出している。スラバヤ市郊外のNgoro Industrial Park (NIP) やパスルアン市に位置するPasuruan Industrial Estate Rembang (PIER) には日系企業の入居が多い。2024年にはハラル製品の製造・物流を推奨業種とする東ジャワ州シドアルジョ県の「シ

ドアルジョ・ハラル工業経済特区」の新設が承認された。

(2) 進出日系企業から見た事業・生活環境やコスト

東ジャワ州は輸出向け、内需向け産業どちらにとっても魅力的な進出先といえるが、近年スラバヤ市内を中心に賃金、土地価格が上昇している点、留意が必要である。

①インフラ・物流

【港湾】

東ジャワ州は、貨物量で同国第2位となるタンジュンペラク国際港を擁している。また、トゥルック・ラモン (Teluk Lamong) 港もある。インドネシアのインフラ詳細については、「第20章 物流・インフラ」を参照。

【空港】

東ジャワ州には、ジュアンダ国際空港がある。スラバヤ市内中心部から同空港へは車で40分の距離である。また、2022年4月には東ジャワ州マドゥラ島東端のトゥルノジョヨ空港の運用が開始されている。同空港を発着する航空機は、州都スラバヤやバニュワンギ、マドゥラ島沖合の島しょ部などの路線を運航する。

②労働事情

【人材】

2024年の東ジャワ州の人口は4,181万人と、西ジャワ州に次いで多い。過去の日本企業へのヒアリングによると、スラバヤ近郊の労働者については、「人が良い」と回答する例が多かった。過去のヒアリングでは、工場の生産現場などの教育はスラバヤに限らずどの土地でも大変だが、日本語を話せる者が相応数（企業によっては従業員の3割程度との回答もあり）おり、真面目な人物が多いことから、教育の効果は表れやすいようだ。他方、日本的な緻密さがなかったり、経理部門で日本語を話せるスタッフがいなかつたりといった点が問題として残っている。

【賃金】

2024年の最低賃金は217万ルピアで、全国の州レベル法定最低賃金としては低い水準にある。ただし、スラバヤ市内の最低賃金は473万ルピアで州レベルの倍以上であり、ジャカルタの507万ルピアに迫る水準である点、留意が必要である。

③生活環境

【食事】

スーパーマーケットは、日本食材を取扱っている「PAPAYA」がある。「PAPAYA」はジャカルタ

に展開している食品小売店舗である。

また、地場の高級スーパー「RANCH MARKET」も展開されている。

外食では、日本食ではシャングリラホテル内の「西村」、マリオットホテル内の「伊万里」などがある。日系チェーン店では、うどんの「丸亀製麺」、牛丼の「吉野家」が進出している。この他、焼肉、ハンバーガー、インドネシア料理、中華料理、韓国料理など、多様なレストランがある。

【教育】

スラバヤ日本人学校（1979年開校）は、幼稚部、小学部、中学部がある。またインターナショナル・スクールもある。

【医療】

在スラバヤ日本国総領事館のウェブサイトで、スラバヤ市内の病院として、公立ドクターストモ病院やエルカセット病院など6病院が紹介されている。また、日本語通訳サービスを行っている会員制医療サービス「ウェルビー」（PT WellBe Indonesia）も利用可能である。

外務省「世界の医療事情」

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/asia/indonesia.html>

【その他】

東ジャワジャパンクラブがある。先述の在スラバヤ日本国総領事館のウェブサイトには東ジャワジャパンクラブ作成のスラバヤガイド（医療やレストランなどの情報がまとめられている）が掲載されており、参考になる。



スラバヤ市内のショッピングモール



スーパー「PAPAYA」の看板

2. 主要工業団地

東ジャワ州に立地する主要工業団地を以下の表にまとめた。

No.	工業団地名	Address
1	Pasuruan Industrial Estate Rembang (PIER) Indsutrial Estate	PIER (Pasuruan Industrial Estate Rembang) Jl. Kraton Industri II no. 1 PIER Pasuruan.
2	Surabaya Industrial Estate Rungkut (SIER) Industrial Estate	Jl. Rungkut Industri Raya no. 10 Surabaya
3	JAVA Integrated Industrial and Port Estate (JIYPE) SEZ	Jl. Raya Manyar KM 11, Manyar- Gresik, East Java, Indonesia
4	Maspion Industrial Estate	Jl. Raya Manyar Km 25 Kecamatan Manyar, Gresik Jawa Timur
5	Gresik Industrial Estate	Jl. Tridharma No.3 – Gresik 6112
6	Ngoro Industrial Park	Jl. Raya Ngoro, Kab. Mojokerto 61385

(出所) JETRO「インドネシアの工業団地・SEZ情報」、BKPM “Indonesia Investment Guidebook 2022”